

令和8年3月東近江市議会定例会 発言通告一覧（代表質問）

発言順位・議員名・会派名	1 大橋 保治（東近江市民クラブ）
項目	内容
1 市長の所信表明について	<p>(1) 安心して子供を産み健やかに育てることができるまち</p> <p>ア 本市の未来を創る「子育て・教育」施策について</p> <p>(ア) 地域ごとに異なる放課後保育のニーズに対し、どのように向き合い、全市的な視点で、豊かな放課後の居場所をどのように整えていくのか伺う。</p> <p>(イ) 東近江市全体の放課後児童対策の「グランドデザイン」について見解を伺う。</p> <p>(ウ) 民間事業者が運営する学童保育に対し、開設までの伴走支援や運営面のサポートを含め、どのような責任を持って関わっていくか伺う。</p> <p>(エ) 設置主体の違いにかかわらず「同様の保育環境と安全」を担保するため、どのように事業者に寄り添い、共に子供たちの健やかな育ちを支えていくのか伺う。</p> <p>イ 若者によるにぎわいの場の創出について</p> <p>(ア) 若者によるにぎわいの場の創出という新たな挑戦に、どのような目的を持ち、思いを込めているのか伺う。</p> <p>(イ) 若者が主体となって活動し、将来の「東近江市への定住や活躍」へと確実につながっていくための運営のあり方、また若者が地域に根付き、共に歩むまちづくりのビジョンと思いを伺う。</p> <p>ウ デジタル活用による利便性と保育の質の向上について</p> <p>(ア) デジタルツールの活用によって、保護者と園の繋がりをどのように深め、本市の保育の環境を充実させていくのか伺う。</p> <p>(イ) テクノロジーの力を「子供たちの健やかな育ち」や「現場のゆとり」にどう還元していくのか見解を伺う。</p> <p>エ 待機児童解消に向けた「3歳未満児」の受入れ拡大について</p> <p>(ア) 市全体として、依然として需要の高い「3歳未満児」の受け皿を今後どのように拡充していくのか伺う。</p> <p>(イ) 特定の地域に偏ることなく親世代が安心して預けられる体制をどのように構築していくのか。待機児童の完全解消に</p>

	<p>向けた今後の方針を伺う。</p> <p>オ 特別な指導を必要とする子供の学びの場、通級指導教室の拡充について</p> <p>(ア) どの地域においても、子供たちが自らの個性を生かし、その可能性を最大限に伸ばしていける教育環境をどのように整えていくか伺う。</p> <p>(イ) 教育環境をどのように高め、子供たちの多様な学びを支えていくのかビジョンを伺う。</p> <p>カ 企業版ふるさと納税を活用した「ICT教育の充実」と人材育成について</p> <p>(ア) プログラミング学習の充実を通じて、子供にどのような資質や能力を身につけてほしいと考えているのか伺う。</p> <p>(イ) 学校教育におけるICT活用をどのように進化させていくのか今後の展望を伺う。</p> <p>(2) 支え合い健康長寿で暮らしやすいまち</p> <p>ア 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための基盤となる福祉施策について</p> <p>(ア) 増大する介護ニーズに対し、どのようにして制度の持続可能性とサービスの質の維持を両立させていくか伺う。</p> <p>(イ) 介護保険事業計画の推進に向けた今後の展望を伺う。</p> <p>イ 障害福祉サービスの充実と支援体制の強化について</p> <p>(ア) 給付費が増大している背景をどのように分析しているのか伺う。</p> <p>(イ) 障害のある方やその家族が抱える多様な不安にどのように応えていくか伺う。</p> <p>(ウ) 誰もが地域の中で安心して暮らせる社会の構築に向けた考えを伺う。</p> <p>ウ 小児の発達支援に向けた医療体制維持について</p> <p>(ア) 身近な地域で発達支援に関する専門的な診察が受けられる環境を維持し続けることの意義について伺う。</p> <p>(イ) 初診待機を発生させない早期支援の環境をどのように守っていかうと考えているのか伺う。</p> <p>(ウ) 障害のある方や発達に特性のある子供が、地域の中で安心して輝き続けられる社会の実現に向けた決意を伺う。</p> <p>エ 地域包括ケアシステムの充実と高齢者の生きがいづくりについて</p> <p>(ア) 各地区に配置される地域包括支援センターを軸として、本市の地域包括ケアシステムをどのように強化していくのか</p>
--	---

伺う。

- (イ) 高齢者が地域の中で役割を持ち、健康で「生きがい」を持って暮らせる環境をどのように整えていくのか伺う。
- (ウ) 誰もが将来にわたり安心して老後を迎えられるまちづくりに向けた将来像と実現への思いを伺う。

オ 健康づくりと母子保健のデジタル化について

- (ア) デジタルの力を活用し事務の負担を減らすことで、「一人ひとりの親子の声に耳を傾ける、温かな対面支援」の充実するべきと考えるが見解を伺う。
- (イ) 「便利さ」を「安心」へ、そして「子供たちの健やかな成長」へと還元していくためのデジタル活用の今後のあり方について伺う。
- (ウ) 健康づくりを楽しみ、自発的に取り組む仕組みをどのように構築していくのか伺う。
- (エ) 「健やかで幸せに暮らせる東近江市」の実現に向けた健康寿命の延伸への今後の展望を伺う。

カ 地域医療の充実、蒲生医療センターの機能強化及び乳がん検診の充実について

- (ア) 蒲生医療センターの機能強化により地域医療のネットワークをどのように底上げし、住み慣れた地域で高度な医療や安心を享受できる体制をどのように整えていくのか伺う。
- (イ) 地域医療政策を今後どのように深化させていくのか、地域医療に対する考えを伺う。

キ 市民人権について

- (ア) 被害者支援や法的な相談窓口への連携は円滑に行われているか。また、市民に向けた啓発活動をどのように強化していくのか伺う。
- (イ) 介護現場や家庭内での高齢者・障害者への虐待について、早期発見・通報体制は機能しているのか伺う。
- (ウ) カスタマーハラスメント対策としての取組と職員の心身の健康確保、円滑な行政サービス提供の両立について伺う。

(3) 人や文化とつながり心豊かに過ごせるまち

ア 生涯学習の充実と文化芸術の振興について

策定される文化芸術拠点施設基本構想において、この拠点施設がどのような役割を果たすべきと考えているのか、将来像について現時点での展望を伺う。

イ 文化スポーツの振興と郷土愛の醸成について

- (ア) 既存の博物館や記念館がこれまで果たしてきた役割をど

	<p>のように評価しているのか伺う。</p> <p>(イ) 森の文化や近江商人の精神など本市独自の文化資産を市民の誇りや「クオリティーの高いまち」の実現にどのように結びつけていくのか伺う。</p> <p>ウ 東近江大風飛揚の再開について 11年ぶりの100豊敷東近江大風の飛揚についての思いを伺う。</p> <p>エ 掩体壕(布引掩体群)の保存・活用について 戦争遺跡の保存と平和教育に活用することについての考えを伺う。</p> <p>オ 森の文化推進条例に基づいた具体的な取組とネイチャーポイントの実現について 専門的な調査や学習プログラムを通じて、心の豊かさをどのように醸成し、魅力の発信力を高めていくのか伺う。</p> <p>カ 鈴鹿の森を源流とする愛知川流域をつなぐプロジェクトについて どのような地域連携や環境保全への広がりを期待しているのか、このプロジェクトに込めた思いを伺う。</p> <p>キ 木地師やまの子の家の再生について 改修・解体の調査・設計を皮切りに、拠点をどのように再生させ、魅力を再構築していくのか、今後の活用の方向性と思いを伺う。</p> <p>ク 国スポ・障スポのレガシー活用について 大会を通じて培われたスポーツへの関心や整備された環境などの「大会のレガシー」を、今後どのように市民スポーツの振興や地域の活性化に結びつけていくか伺う。</p> <p>(4) 快適な生活環境が整った安全・安心なまち</p> <p>ア 豊かな自然を未来につなげることについて</p> <p>(ア) 鈴鹿山脈から琵琶湖に至るまでの大規模な調査研究、特に大学や研究機関等と連携した調査を行っていく考えについて伺う。</p> <p>(イ) 市の環境保全・農業振興・スポーツやレジャーのメッカとして重要である伊庭内湖の保全対策を県と連携して進めていく必要があると考えるが、今後どのように進めていくのか伺う。</p> <p>イ 交通安全対策の推進について 高齢者の交通事故防止対策、通学路の安全確保、自転車の安全利用促進、生活道路の安全対策など市民が安全に暮らせる交</p>
--	--

通環境の構築をどのように考えているか伺う。

ウ 防災・消防・防犯について

- (ア) 消防団の重要性と組織の強化についてどのように考えるか伺う。
- (イ) 全国で発生した自然災害を教訓にした本市の防災力強化についての考えを伺う。

(5) 地域の魅力や産業の活力があふれるまち

ア 農林水産について

- (ア) 東近江地区国営農地再編整備事業に対する思いを伺う。
- (イ) 東近江地区国営農地再編整備事業は、もうかる農業の実現にどのような効果が期待できるのか。また、株式会社東近江あぐりステーションとの関わりについて伺う。
- (ウ) 地域農業の活性化や特産品の振興に対する考えを伺う。
- (エ) 持続可能な森林整備や林業再生に向けた考えを伺う。

イ 商工労働について

- (ア) 企業誘致に対する基本的な方針の総括と新たな企業誘致へ向けた今後の展望を伺う。
- (イ) 近江鉄道八日市駅東西連絡通路整備後の中心市街地の夢のある姿について伺う。

ウ 観光について

- (ア) 魅力ある、地域資源を生かした物産振興、観光資源のブランド化の構築に向けた考えを伺う。
- (イ) 今後の観光の目玉となりうる地域資源を利活用した観光戦略についての考えを伺う。

エ 創生について

- (ア) 人々が森に目を向け、重要性を認識するために森に関わる効果や方策について見解を伺う。
- (イ) 関係首長を中心とした木地師サミットの開催が、どのように市民主体の取組や地域現場と結びついていくのか伺う。
- (ウ) 首長間のネットワーク強化が、次世代への継承にどのようにつながっていくのか考えを伺う。

(6) 都市基盤が整った快適なまち

ア 道路河川・公園について

- (ア) 東近江市道路整備アクションプログラムを進めていく中で、道路整備推進に向けた決意を伺う。
- (イ) 市民が集う憩いの場として、新しいコミュニティの創出につながる公園整備について考えを伺う。

	<p>イ 公共交通について</p> <p>(ア) JR琵琶湖線の利用促進に向けた市の方向性と能登川駅東口の道路整備についての考えを伺う。</p> <p>(イ) 新幹線新駅を市内に設置する必要性や効果などについて伺う。</p> <p>ウ 住宅について</p> <p>市街地周辺部においても若い世代が住んでみたいまちとなるため、さらに取組が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>エ 上下水道について</p> <p>道路陥没事故等を受けての上下水道施設の維持管理の状況や腐食対策について伺う。</p>
<b>発言順位・議員名・会派名</b>	<b>2 戸嶋 幸司 (太陽クラブ)</b>
<b>項 目</b>	<b>内 容</b>
1 第2次東近江市総合計画の振り返りと今後の課題について	最終年度となる第2次総合計画の達成したことや未達成のもの、今後の課題などについて見解を問う。
2 令和8年度一般会計予算について	<p>(1) 財政運営と基金管理について、当初予算額が過去最大となった要因と基金の取り崩しなど、長期的な財政の見直しに対する見解を問う。</p> <p>(2) 少子化に対する根本的な課題についてどのように考えているのか、見解を問う。</p> <p>(3) 教育の充実について問う。</p> <p>ア 本市における近年の全国学力・学習状況調査の状況は。</p> <p>イ 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた本市の学力の現状及び今後の取組についての見解は。</p> <p>(4) 中心市街地について、活性化に向けたこれまでの取組の振り返り、新年度の事業への意気込み、描く未来の姿について見解を問う。</p> <p>(5) 森の文化の魅力発信について、取組への思い、意気込み、展望について問う。</p>

発言順位・議員名・会派名	3 田郷 正（日本共産党議員団）
項 目	内 容
1 高市政権の外交・防衛施策について	国の外交・防衛施策について市長の見解を問う。
2 暮らし、福祉、教育最優先の市政を	<p>(1) 安心して子供を産み健やかに育てることができるまち</p> <p>ア 改修の要望がある学童施設への対応について問う。</p> <p>イ 18歳までの子供の医療費助成の完全無償化を実現すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>ウ 0歳児から2歳児までの保育料を無償化し、子育て支援を充実させるべきと考えるが見解を問う。</p> <p>エ 通級指導教室運営事業、校内教育支援センター設置・運営事業及びいじめ対策推進事業などの予算を増額すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>オ 小・中学校体育館への早急なエアコン設置が必要と考えるが見解を問う。</p> <p>カ 保育・幼児施設や中学校の給食費無償化を実現すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(2) 支え合い健康長寿で暮らしやすいまち</p> <p>ア 介護認定に対する不満を聞くが、どのように改善するのか問う。</p> <p>イ 高齢者補聴器購入費助成金を5万円に拡充すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>ウ 蒲生医療センターで一般診療入院ができるようにすべきと考えるが見解を問う。</p> <p>エ 国民健康保険料の値上げは中止すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(3) 人や文化とつながり心豊かに過ごせるまち</p> <p>ア 文化芸術振興拠点施設基本構想策定について、新たに施設を作ることも地域に密着した文化を育む取組を優先すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>イ (仮称) 東近江市森の文化博物館基本計画そのものを見直すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(4) 快適な生活基盤が整った安全・安心なまち</p> <p>ア 防災・減災対策と消防体制の充実について具体的な施策を問う。</p> <p>イ 非常勤消防団員の確保に関して、定員や訓練などの見直し</p>

	<p>が必要と考えるが見解を問う。</p> <p>(5) 地域の魅力や産業の活力があふれるまち</p> <p>ア 新規就農者への支援とともに営農組織・農家への支援策が必要と考えるが見解を問う。</p> <p>イ 企業立地促進奨励金や雇用促進奨励金など、大企業への支援はもうやめるべきと考えるが見解を問う。</p> <p>ウ 中心市街地のにぎわい創出事業は見直すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>エ 産業用地開発事業は全額県負担とすべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(6) 都市基盤が整った快適なまち</p> <p>ア (仮称)黒丸スマートインターチェンジの設置や街路事業などの大型公共事業の推進は優先すべきではないと考えるが見解を問う。</p> <p>イ 住宅リフォーム補助金の予算は削減すべきではないと考えるが見解を問う。</p>
3 市長は法律順守義務がある	<p>(1) 寄附を要請されたのは事実か問う。</p> <p>(2) 選挙費用として150万円を寄附したのか問う。</p> <p>(3) 公職選挙法に違反していると認識しているか問う。</p> <p>(4) 自らの責任をどうとらえているか問う。</p>
<b>発言順位・議員名・会派名</b>	<b>4 中村 和広 (万葉会)</b>
<b>項 目</b>	<b>内 容</b>
1 万葉故地について	<p>(1) 本市での万葉故地サミットの開催時期はいつか伺う。</p> <p>(2) 本市の万葉故地は、どの地域、あるいはどの場所を示すのか。また、どのような史跡を示すのか伺う。</p> <p>(3) 今後サミット開催に向けてどのように機運の醸成を図っていくのか伺う。</p>
2 中心市街地活性化について	<p>(1) 東西連絡通路整備に係る事業について、目的と効果を伺う。</p> <p>(2) 東西連絡通路整備に係る事業の費用対効果を数値で伺う。</p> <p>(3) 近江鉄道本線浜野道踏切の拡幅工事について、当初に見込んでいた概算事業費と事業完了後の総事業費はそれぞれいくらか。また、どの程度の乖離があったか、乖離があった場合、その要因を伺う。</p>

<p>3 農業・林業振興 について</p>	<p>(1) 市内の農産物の特産品化に対する考えについて伺う。  (2) 政所茶の付加価値向上に向けて取り組むべきと考えるが見解を伺う。  (3) 次期におけるあぐりステーションの重点取組と経営の見通しについて伺う。  (4) 国営近江東部地区における計画策定状況について伺う。  (5) 森林境界明確化後における造林事業の進捗状況と課題について伺う。  (6) 今年度の鳥獣被害の状況と次年度に向けた対策強化策を伺う。</p>
<p>発言順位・議員名・会派名</p>	<p><b>5 吉坂 豊（公明党）</b></p>
<p>項 目</p>	<p>内 容</p>
<p>1 安心して子供を産み健やかに育てることができるまち</p>	<p>(1) 学童保育について、保護者が安心して環境づくりと数年先を見据えた人材確保についての計画を伺う。  (2) 若者によるにぎわいの場の創出事業と、既にある住み続けたい地域づくり交付金事業との違い及び各事業効果を伺う。  (3) 施設運営支援アプリ「コドモン」の導入に際して、先に導入している教育委員会と課題を検証し、どのような改善をしたのか伺う。</p>
<p>2 支え合い健康長寿で暮らしやすいまち</p>	<p>(1) 東近江市母子手帳アプリ「ららぽっけ♪」を導入することで具体的にどのような子育ての負担軽減が期待できるのか。また、保護者と市のメリットは何か伺う。  (2) アプリなどのデジタル化に苦手意識がある方への配慮や対応を伺う。  (3) 保護者の不安を取り除くためのアプリのセキュリティ対策を伺う。</p>
<p>3 人や文化とつながり心豊かに過ごせるまち</p>	<p>(1) 文化芸術振興拠点施設基本構想策定に当たって、どのような構想を予定しているのか伺う。  (2) 本市の文化資産を「守る」対象から、まちを活性化させるための「投資」の対象へと転換する考えについて伺う。</p>
<p>4 快適な生活基盤が整った安全・安心なまち</p>	<p>(1) 橋梁長寿命化対策事業のコストの平準化と安全性の担保について伺う。  (2) 伊庭内湖環境保全事業の内容と能登川水車とカヌーランドの</p>

	活用事業との連携について伺う。
5 地域の魅力や産業の活力があふれるまち	(1) 新規開業スタートアップ支援の事業内容及び1件当たりの補助金額の算出根拠と採択件数の見込みについて伺う。 (2) 県と連携した産業用地開発事業の各種調査の項目に産業用地周辺への環境の影響や今後の交通量増加の評価があるのか伺う。
6 都市基盤が整った快適なまち	(1) J R 能登川駅西口ロータリー改良によってどのような課題解決を図り、安全性向上につながると考えているのか伺う。 (2) 平田駅前団地大規模改修工事の内容を伺う。

令和8年3月東近江市議会定例会 発言通告一覧（一般質問）

発言順位・議員名（会派名）	1 山中 一志（日本共産党議員団）
項 目	内 容
1 東近江市中心市街地活性化基本計画について	<p>(1) 市街地の整備改善について伺う。</p> <p>ア 計画に記載される12事業の進捗状況は。</p> <p>イ 各事業の事業費は。</p> <p>ウ 補助財源の内訳は。</p> <p>エ 整備事業の成果と課題は。</p>
2 高齢者を含む交通弱者の移動手段について	<p>(1) 公共交通利用機会の創出方法について伺う。</p> <p>ア 移動手段を確保するためのソフト面の拡充は。</p> <p>イ 車両、駅舎、停留所等ハード面の整備拡充は。</p> <p>(2) 東近江市中心市街地活性化基本計画にある公共交通の利便性の増進のための3事業の進捗とその効果について伺う。</p> <p>(3) 他部局との連携について伺う。</p> <p>ア 東近江市地域公共交通計画では、高齢者の外出機会の創出に向けた福祉部局との連携を図るとあるが、どういった施策を展開しているのか。</p> <p>イ 福祉バスの導入の考えは。</p> <p>(4) 近江鉄道線のシルバーパスのように他の公共交通の利用料金減免への対応についての考えを伺う。</p>
3 学校給食について	<p>(1) 学校給食費の値上げについて回避できなかったのか伺う。</p> <p>(2) 小学校以外の給食費無償化についての考えを伺う。</p> <p>ア 中学校は。</p> <p>イ 公立認定こども園及び幼稚園、民間認定こども園及び保育所は。</p>

発言順位・議員名（会派名）	2 安田 高玄（太陽クラブ）
項 目	内 容
1 農業、農村の抱える課題について	<p>(1) 蒲生地区における土地改良事業推進に対する課題と今後について</p> <p>ア 土地改良区が設立されていない地域の現状を伺う。</p> <p>イ 土地改良区が設立されていない地域における土地改良事業推進に対する市の考えを伺う。</p> <p>ウ 市内の土地改良区における運営の課題とその課題に対する市の支援についての考えを伺う。</p> <p>(2) 農村集落における農業関係役員の負担軽減について</p> <p>ア 集落で選出される農業関係役員には、どのようなものがあるのか伺う。</p> <p>イ 役員の負担軽減についての考えや取組などを伺う。</p> <p>ウ 農業従事者の減少に伴う、今後の農業関係役員選出について、市の考えを伺う。</p>
2 小・中学校における学校外での活動について	<p>(1) 平日に学校を休んでも欠席扱いとしない制度を本市に導入する考えや思いを伺う。</p> <p>(2) 本市に、ラーケーションの日を設ける考えはあるか伺う。</p>
発言順位・議員名（会派名）	3 松本 喜美（太陽クラブ）
項 目	内 容
1 本市の不登校対策について	<p>(1) 校内教育支援センターの設置やフリースクール等民間施設利用支援制度開始から2年が経過して</p> <p>ア 直近3年間における不登校児童生徒数の推移とその要因を伺う。</p> <p>イ 校内教育支援センター及び民間施設利用支援制度について、利用状況の推移と、制度の効果に関する評価を伺う。</p> <p>ウ 校内教育支援センター及び民間施設利用支援制度の周知方法を伺う。</p> <p>エ 校内教育支援センターや民間施設を利用している児童生徒・保護者の声を把握し、施策改善に反映しているか伺う。</p> <p>(2) 不登校の要因について</p> <p>ア 現在の不登校の要因をどのように分析しているのか伺う。</p> <p>イ 未然防止及び早期発見の観点から、どのような取組を行っているか伺う。</p>

	<p>ウ 行政につながっていない家庭の把握はどのように行っているのか。また、アウトリーチ型支援について検討しているのか伺う。</p> <p>(3) 高校入学以降の支援体制について</p> <p>ア 市内在住の高校生における不登校の状況をどの程度把握しているのか伺う。</p> <p>イ 義務教育終了後の相談体制は明確に整理され、市民に周知しているのか伺う。</p> <p>ウ 義務教育の終了をもって支援が途切れることのない体制整備が必要と考えるが、今後どのように取り組むのか見解を伺う。</p>
<b>発言順位・議員名（会派名）</b>	<b>4 小梶 昌巳（無会派）</b>
<b>項 目</b>	<b>内 容</b>
1 回送で走行している近江バス及びちよこっとバスの活用について	<p>(1) 回送区間の営業化にあたっての法的課題は何かを伺う。</p> <p>(2) 実証実験として事業者や関係機関と協議を行う考えはあるか伺う。</p>
2 本市と自治会のごみ収集ルールについて	<p>(1) 本市において、ごみ集積所の管理責任はどこにあるのか、見解を伺う。</p> <p>(2) 自治会未加入者による集積所利用の制限などの実態について、把握しているか伺う。</p> <p>(3) 地域の住民同士で衝突が生じた場合、市としてどのような考え方で対応すべきと認識しているのか伺う。</p> <p>(4) 今後、自治会加入の有無に関わらず、市民が安心して暮らせる仕組みをどのように整えていくのか、見解を伺う。</p>
3 ネーミングライツについて	<p>(1) 公共施設のネーミングライツパートナーの募集結果を伺う。</p> <p>(2) ちよこっとバス停留所のネーミングライツパートナーの募集状況を伺う。</p>

発言順位・議員名（会派名）	5 西川 清里（万葉会）
項 目	内 容
1 障害者福祉を充実し、誰もが地域で安心して暮らし続けられる東近江市へ	<p>(1) 就労支援事業利用者が就労後に利用できる居場所の現状を把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 夕方以降に利用できる居場所や交流スペースを増やす考えはあるのか伺う。</p> <p>(3) 既存の公共施設や地域コミュニティ施設を活用し、障がいのある方が気軽に立ち寄れる環境整備を進める考えがあるのか伺う。</p> <p>(4) 地域ボランティアやNPOと連携し、見守りや交流を含めた居場所づくりを推進する考えはあるのか伺う。</p> <p>(5) 県研修や市独自研修により、居場所運営に関わる職員の研修や支援を推進することの考えを伺う。</p> <p>(6) 現場職員が勤務を続けながら学べる体制の整備や研修参加を促進する支援策を検討しているのか伺う。</p> <p>(7) 市版の人材育成ロードマップや研修体系を策定し、現場に届く形にする考えがあるのか伺う。</p> <p>(8) 固定資産税が生活を圧迫している障がいのある高齢者世帯の実態を把握しているのか伺う。</p> <p>(9) 減免制度や徴収猶予制度の周知は十分に行われているのか伺う。</p> <p>(10) 税務部局と福祉部局が連携し、生活困窮に至る前に早期相談へつなぐ仕組みはあるのか伺う。</p> <p>(11) 今後増加が見込まれる障がいのある高齢者世帯に対し、固定資産税負担の実態把握と必要な対策を検討する考えがあるのか伺う。</p>
発言順位・議員名（会派名）	6 青山 孝司（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 農業政策について	<p>(1) 農業に関する補助金事業について伺う。</p> <p>ア 令和7年度の各補助金事業の実績、効果は。</p> <p>イ 各補助金事業の状況を踏まえ、令和8年度に講じる農業に関する補助金に対する見解は。</p> <p>(2) スマート農業について伺う。</p> <p>ア 本市の取組状況と課題は。</p> <p>イ 先進的事例は。</p> <p>ウ 今後への期待は。</p>

発言順位・議員名（会派名）	7 田井中 文三（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 食料自給率向上に資するための地域農業の課題である「地域計画の進展」について	<p>(1) 地域計画の進捗の現状及びそれに対する支援を伺う。</p> <p>(2) 地域計画の実現に向け、具体的な指針を明示すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 課題のある農業組合等に対し地域計画のブラッシュアップを求め、後押しするか伺う。</p> <p>(4) 農業基盤整備を増産に資するものとするための、新たな取組を伺う。</p>
2 地域農業の課題である「有害動植物の被害状況と対策」について	<p>(1) 早急な対策に取り組む必要がある次の動植物の脅威の現状や内容、今後の対策を伺う。</p> <p>ア 渡り鳥であるオオバンについて。</p> <p>イ 農作物及び農業用施設に新たな被害が懸念される、外来動物ヌートリアについて。</p> <p>ウ 湖畔や農業用排水路等に繁茂する特定外来生物（オオバナミズキンバイ・ナガエツルノゲイトウ）について。</p>
発言順位・議員名（会派名）	8 森 鉄兵（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 公共施設における料金制度・減免について	<p>(1) 使用料制と利用料金制の使い分け基準は。</p> <p>(2) 利用料金制を採用している施設とその具体的な理由は。</p> <p>(3) 利用料金制の採用により、どのような効果を狙っているのか。</p> <p>(4) 減免制度を設け、運用している目的は。</p> <p>(5) 利用料金制の施設において、減免で生じた「減収分」は、指定管理者の収支にどのように反映し、補填される仕組みか。</p>
2 新規就農につながる地域おこし協力隊の導入について	<p>(1) 既存の補助金ではなく、あえて「地域おこし協力隊」制度を活用する理由とメリットは。</p> <p>(2) 導入による、本市の農業に期待される効果は。</p>
3 農地貸借に係る法改正とハウス等「施設継承」のサポートについて	<p>(1) 貸借の農地バンク一本化による、現場での具体的なメリットは。</p> <p>(2) 施設をスムーズに継承できるよう市がサポートする必要があると考えるが、本市の認識は。</p>

4 食料システム法への対応について	(1) 市場の開設者として具体的にどのような対応をしていくのか伺う。 (2) 食料システム法が掲げる「持続可能な価格形成」に向けた市の今後の方針を伺う。
<b>発言順位・議員名（会派名）</b>	<b>9 鈴木 則彦（東近江市民クラブ）</b>
<b>項目</b>	<b>内 容</b>
1 近江鉄道線 I C O C A 導入と利用者サービスの向上について	(1) 今回の I C O C A 導入の意義をどのように考えているか伺う。 (2) シルバーパスは従来どおり継続利用できるのか伺う。 (3) 1日乗車券ワンデイスマイルチケットの料金改定の背景と考え方を伺う。 (4) J R との定期券の相互利用は可能か伺う。 (5) I C カードを持たない人への対応を伺う。
2 みどりまちテラスと併設する飲食店について	(1) みどりまちテラスのコンセプトと概要、アピールポイントを伺う。 (2) みどりまちテラスはどのような活用方法を想定されて整備したのか伺う。 (3) 市民がみどりまちテラスを気軽に訪れ、楽しむ機会を増やすための具体的な方策を伺う。 (4) 飲食店が併設されたことで、市民や市職員にもたらす効果や期待する点を伺う。
<b>発言順位・議員名（会派名）</b>	<b>10 奥村 忠彦（東近江市民クラブ）</b>
<b>項目</b>	<b>内 容</b>
1 東近江市商工会の持続的発展と地域内経済循環について	(1) 本市と東近江市商工会との連携について ア 本市と商工会との定期的な協議の場はあるのか伺う。 イ 具体的にどのような連携がされているのか伺う。 (2) 持続的に地域内経済循環を高める仕組みの必要性について ア 市の公共事業や物品調達において、市内事業者優先発注の取組は、どの程度進んでいるか、入札を執行した案件について具体的数値で伺う。 イ 売上向上に直結する施策はどのようなものがあるのか伺う。

	<p>(3) 創業及び事業承継について</p> <p>ア 空き店舗活用支援の実績について伺う。</p> <p>イ 昨年9月末に実施された東近江市事業承継アンケートの結果について伺う。</p> <p>ウ 12月に実施された「アトツギなんでも個別相談会」の応募数と成果について伺う。</p>
2 ふるさと寄附と地場産業の振興について	<p>(1) 本市へのふるさと寄附と他市への寄附額について</p> <p>ア 本市における直近5年間の寄附受入額とその推移とその主な増減要因について見解を伺う。</p> <p>イ 市民が他自治体へ寄附したことに伴う直近の個人市民税控除額、いわゆる税収流出額を伺う。また、直近の受入額と直近の流出額を差し引きした収支を伺う。</p> <p>ウ 直近の収支を踏まえ、本市のふるさと寄附の現状をどのように分析・評価しているか伺う。</p> <p>(2) 地域産業を育てる政策ツールの観点から</p> <p>ア 現在の返礼品提供事業者数と直近5年間の推移を伺う。</p> <p>イ 市内事業者への波及効果をどのように把握し、評価しているか伺う。</p> <p>ウ 単年度の寄附額だけでなく、中長期的な地域経済への効果という視点が重要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 今後の強化戦略や取組について</p> <p>ア 寄附額の来年度の数値目標を伺う。</p> <p>イ 新たな返礼品開発支援や体験型・観光連携型のメニュー拡充などを検討されているか伺う。</p> <p>ウ 寄附者との継続的な関係づくり、「東近江市ファンづくり」の視点について考えを伺う。</p>
発言順位・議員名(会派名)	<b>11 西澤 由男(東近江市民クラブ)</b>
項目	内容
1 外国人住民への支援について	<p>(1) 本市の外国人住民の人口と、未就学児、小学生、中学生、生産年齢及び高齢者の人口構成を伺う。</p> <p>(2) 市内の園に在籍している外国人未就学児のうち、支援を必要としている者に対する支援状況及びその支援にかかる財源を伺う。</p> <p>(3) 市内の小・中学校に在籍している外国人児童生徒のうち、支援を必要としている者に対する支援状況及びその支援にかか</p>

	<p>る財源を伺う。</p> <p>(4) 東近江国際交流協会に委託している多文化共生推進事業について委託事業の内容及び課題を伺う。</p> <p>(5) 学校卒業後の就労や暮らしの相談の状況及び課題を伺う。</p> <p>(6) 自治会などに対して、地元住民との共生のための支援はあるか伺う。</p> <p>(7) 外国人住民と地元住民との交流が図れるような支援の充実が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(8) 今後施行される育成就労制度について、外国人労働者の受入れに対する備えはできているか伺う。</p> <p>(9) 日本が外国人に対して、先進国としての義務を果たす時代が来たと考えるが、見解を伺う。</p>
<b>発言順位・議員名（会派名）</b>	<b>12 山本 直彦（東近江市民クラブ）</b>
<b>項 目</b>	<b>内 容</b>
1 愛東地区の県道整備について	<p>(1) 県道百済寺甲上岸本線の池之尻町から上中野町間の整備について見解を伺う。</p> <p>(2) 県道外八日市線の上岸本町から神田町間の歩道整備について見解を伺う。</p>
2 G I G A スクール構想の検証について	<p>(1) 学力及び学習の質への影響について見解を伺う。</p> <p>(2) 健康面への影響について見解を伺う。</p> <p>(3) 情報モラルや依存の問題について見解を伺う。</p> <p>(4) 教職員の業務量への影響について見解を伺う。</p> <p>(5) 将来的な更新時の財政負担の見通しを伺う。</p> <p>(6) データのセキュリティ対策に問題はないか、見解を伺う。</p> <p>(7) デジタル教科書の導入が児童生徒に与える影響について見解を伺う。</p>
<b>発言順位・議員名（会派名）</b>	<b>13 澤居 寛明（東近江市民クラブ）</b>
<b>項 目</b>	<b>内 容</b>
1 まちづくりにおけるDX活用と女性参画について	<p>(1) 令和7年度の自治会長の男女比率とその状況をどう受け止めているのか伺う。</p> <p>(2) 自治会長が1年間に市と関連組織（充て職を含む）の会議に出席を求められる延べ日数の把握をしているのか、またその負担量についての認識を伺う。</p>

	(3) 市への書類提出や会議について、DX化が進んでいるものの有無と現状について市の見解を伺う。
2 市内の保育ニーズの高まりについて	(1) 認定こども園等における0歳から2歳児（3歳未満児）の待機児童数について、過去3年間分の人数を地区別に伺う。 (2) 過去3年間において、湖東ひばり幼稚園を第一希望とした子が他園に就園した数と入園が叶わず就労を諦められた数を伺う。 (3) 市内の住宅需要や人口動態の変化をどのように見通し、将来的な施設整備を展望しているのか ア 保育施設について伺う。 イ 教育施設について伺う。
3 特色ある教育について	(1) 小中学校が実施されている特色ある行事は何かあるか伺う。 (2) 特色ある行事を継続する上での困りごとや課題はどのようなものがあると認識しているのか伺う。 (3) 経済的支援や人的支援など市ができる支援策を伺う。
<b>発言順位・議員名（会派名）</b>	<b>14 西崎 彰（東近江市民クラブ）</b>
<b>項目</b>	<b>内 容</b>
1 公共インフラの維持管理と長寿命化対策について	(1) 上下水道の長寿命化対策は、どのような計画に基づき実施されているか。また、その進捗状況は目標どおりか伺う。 (2) 市が管理者となっている市道、トンネル、橋梁等の長寿命化対策は、どのような計画に基づき実施されているか。また、その進捗状況は目標どおりか伺う。 (3) 長寿命化対策の担い手となる業界への人材確保支援、市内業者の育成や技術の継承等を市としてどのように行っているか。また、長期的視野に立った取組等はあるか伺う。 (4) 農業集落排水の公共下水道接続に向けた事業の進捗は順調か。また課題はないか伺う。 (5) 下水道に接続できない合併処理浄化槽の更新や新設にかかる財源は確保されているか伺う。 (6) 新年度予算では修繕費、長寿命化対策の予算計上が少なく感じられるが、特に幼児施設や教育施設、スポーツ施設等において、数年後に多額の修繕費や更新費用が発生する懸念はないか伺う。 (7) 将来に向けた長寿命化対策財源を確保するために、国からの

	<p>交付金を一旦残しておいて、充てることはできないか伺う。</p> <p>(8) インフラ整備予算の確保は、本来国の責任であり、国にしっかりと予算要望をしたいと考えるが、見解を伺う。</p>
発言順位・議員名(会派名)	15 山下 敦司(公明党)
項目	内 容
1 災害応急対策における備蓄及び体制について	<p>(1) 間仕切り・簡易ベッドの備蓄について</p> <p>ア 備蓄数量と配置場所を伺う。</p> <p>イ 指定避難所の想定収容人数に対して備蓄量は足りているのか伺う。</p> <p>(2) 食料・飲料水の備蓄について</p> <p>ア 備蓄数量とその対象人数及び対応日数を伺う。</p> <p>イ 国や県が示す備蓄目標と比較した本市備蓄量の評価を伺う。</p> <p>(3) 仮設トイレ・簡易トイレの備蓄について</p> <p>ア 災害用トイレの種類と数量、配置場所を伺う。</p> <p>イ 要配慮者用のトイレの配置場所と各数量を伺う。</p> <p>(4) その他災害用資機材等の備蓄について</p> <p>ア 主な資機材の種類と備蓄の数量を伺う。</p> <p>イ 要配慮者用や女性への配慮が必要な資機材の備蓄状況と、そのための備蓄品について福祉部局との連携について伺う。</p> <p>(5) 災害時に協力する市内ボランティア、NPO等との連携について</p> <p>ア 災害時に協力可能な市内のボランティア団体等を把握しているか伺う。</p> <p>イ 社会福祉協議会と発災時の役割分担などの連携について伺う。</p> <p>(6) 災害時の口腔衛生について</p> <p>ア 避難所生活における口腔ケアの重要性の認識について伺う。</p> <p>イ 湖東歯科医師会との連携や口腔ケア用品の備蓄、口腔ケアの支援体制について現状と課題を伺う。</p>